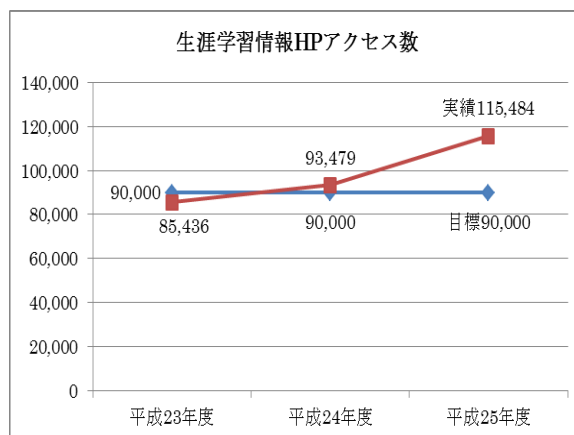
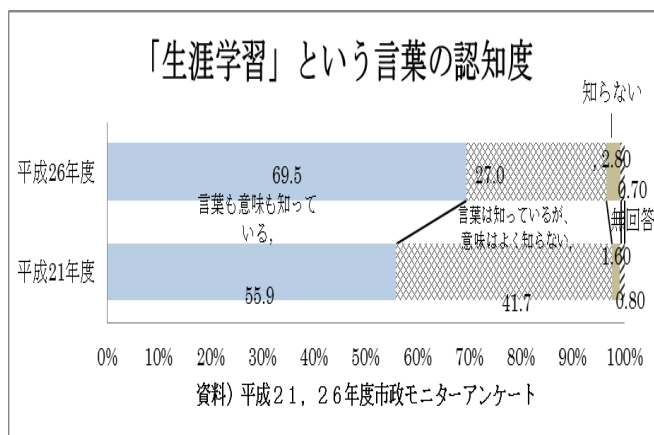


2 前計画における施策毎の成果と市民意識、今後の課題

【施策1】 学習機運の醸成・情報提供と相談体制の整備

これまでの成果

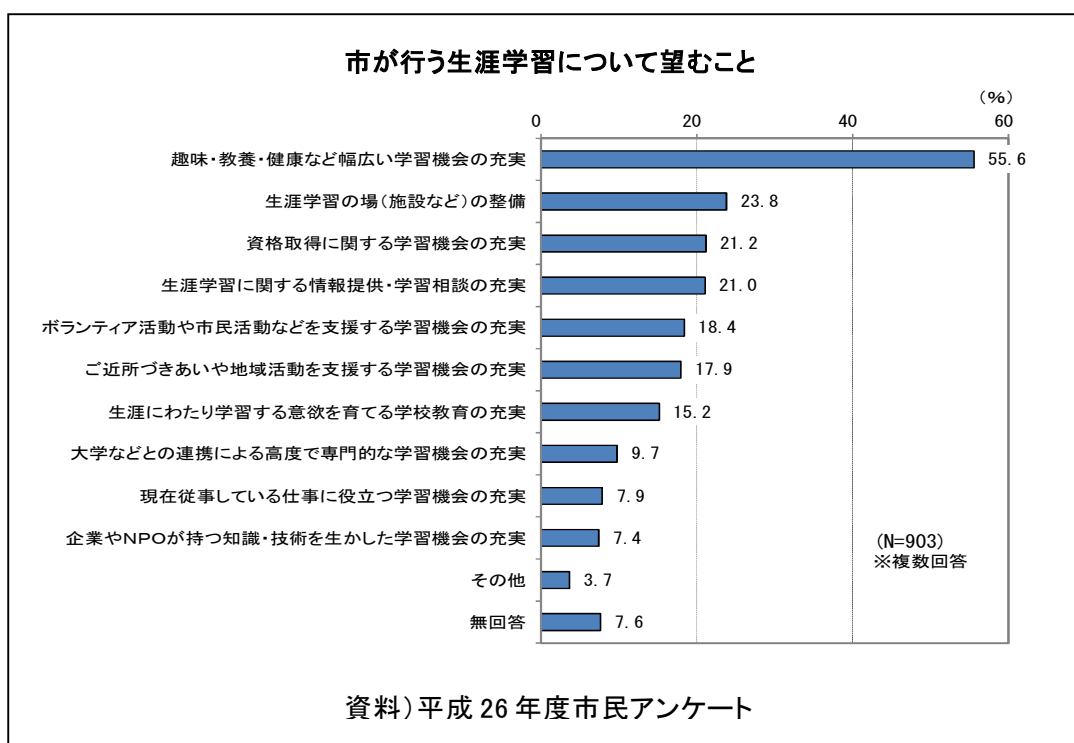
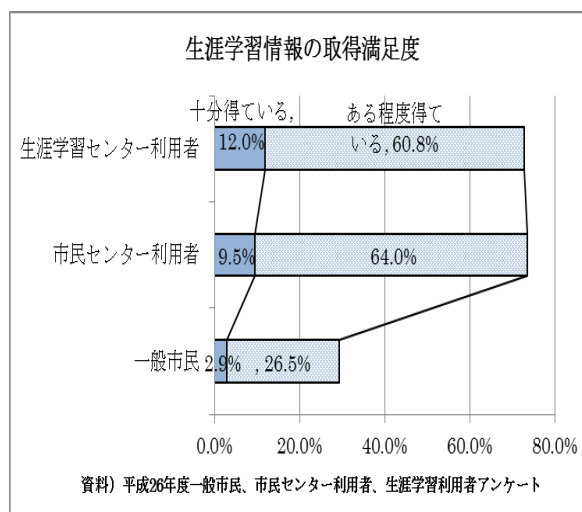
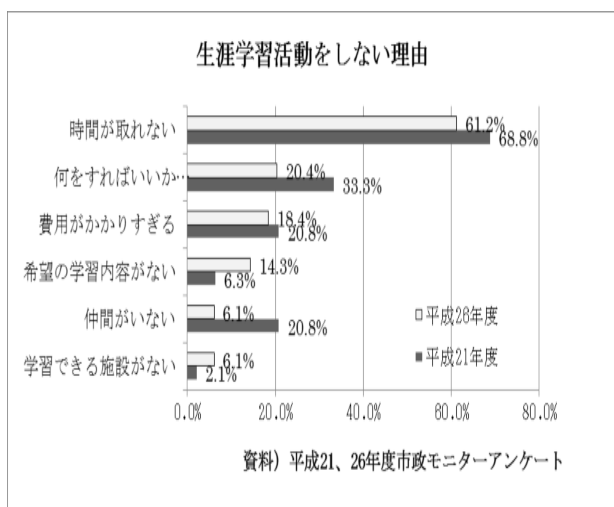
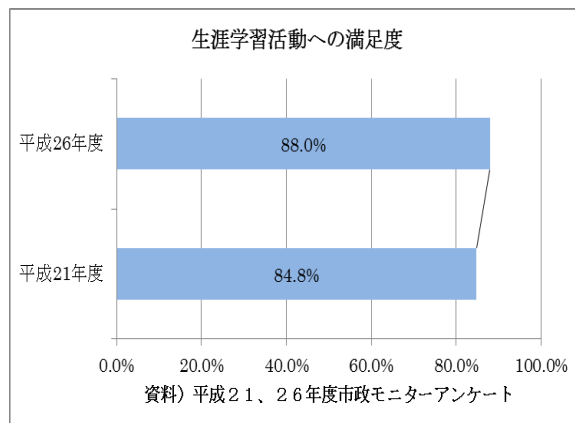
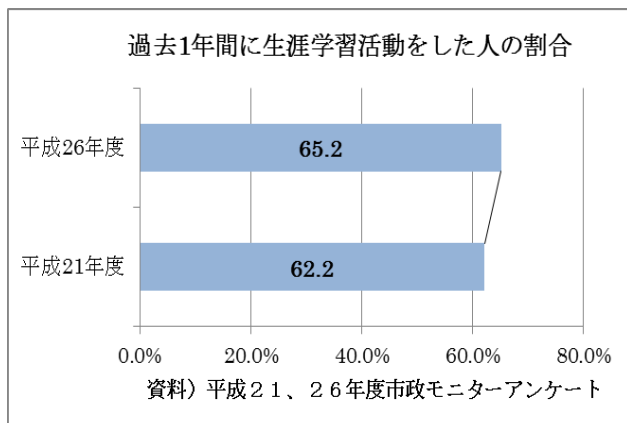
- 生涯学習の振興を図るためには、生涯学習の意義についての市民の理解を深め、市民が自主的に学習に取り組む機運を醸成することが重要です。
- そのため、生涯学習の理念や意義をはじめ、各施設で実施される事業や各年代に応じた学習情報等を、市や市民センターのホームページで情報発信したほか、紙媒体として「市政だより」や「市民センターだより」、各種の啓発パンフレットなどを活用し、生涯学習への理解と関心をより深めるよう啓発活動を行いました。
- また、生涯学習総合センターでは、「学習相談コーナー」を定期的で開催し、市民から寄せられた学習相談に応じています。
- より多くの市民にわかりやすく情報提供するため、市民センター館長等を対象に「広報セミナー」等の研修を実施するとともに、各センターのホームページのレイアウト統一や毎月更新を徹底するなど、市民からのアクセスの頻度が高まるよう工夫しました。
- また、市の生涯学習情報のホームページについても、きめ細やかな情報発信に努めた結果、アクセス数が大きく伸びています。



### 市民意識

- 生涯学習活動を行った人の割合、生涯学習活動への満足度は上昇傾向にあり、生涯学習活動への関心の高まりが見られます。
- 生涯学習活動をしない理由としては、平成21年度に比べ、「時間がとれない」、「何をすればいいかわからない」は低下していますが、依然として高い傾向が続いています。また、「希望の学習内容がない」、「学習できる施設がない」という市民は増加しています。
- 生涯学習に関する情報を「十分得ている」又は「ある程度得ている」と回答した市民の割合は、生涯学習センター利用者と市民センター利用者では7割を超えるのに対し、一般市民では3割弱と低くなっています。
- 市の行う生涯学習に期待することは、「趣味・教養・健康など幅広い学習機会の充実」が最も多く、続いて「生涯学習の場（施設など）の整備」、「資格取得に関する学習の機会の充実」、「生涯学習に関する情報提供・学習相談の充実」などが求められています。

### 第3章 生涯学習の現状と課題



《 今後の課題 》

- 生涯学習情報の取得について、生涯学習センター利用者や市民センター利用者に比べ、一般市民の満足度が低い状況にあります。仕事をしている人を含め、誰もが生涯学習情報にアクセスしやすい仕組みをつくることが求められます。
- また、市の各部局や民間教育事業者等が数多くの学習機会を提供していますが、相互の情報共有がなく、市民からアクセスしやすいとは言い難い状況です。
- したがって今後は、市の各部局で行われる講座や民間教育事業者等が行う学習に関する情報を一括して収集し、体系的に整理したうえで情報提供するなど、市民にとって利便性が向上する仕組みをつくる必要があります。
- 平成 25 年度に構築した「まなびネットひまわり」については、利用者の視点から使いやすく、また情報内容の充実に向けた改善が求められます。